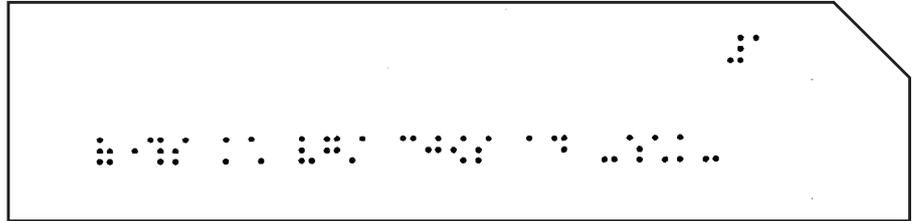
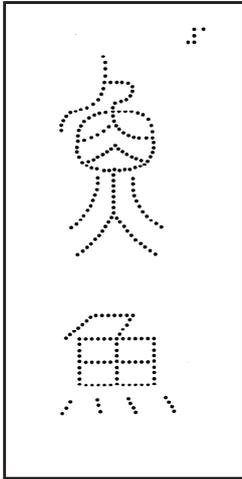


漢字カルタ

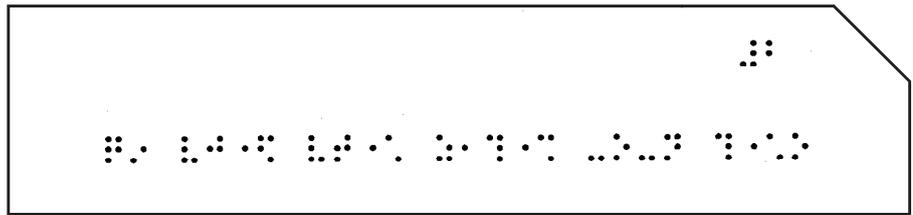
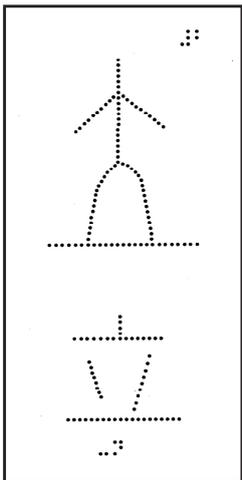
太郎次郎社の『101漢字カルタ』は、漢字の成り立ちを用いながら楽しく漢字を学習できる教材である。そこで、これを点訳して授業で活用した。

1



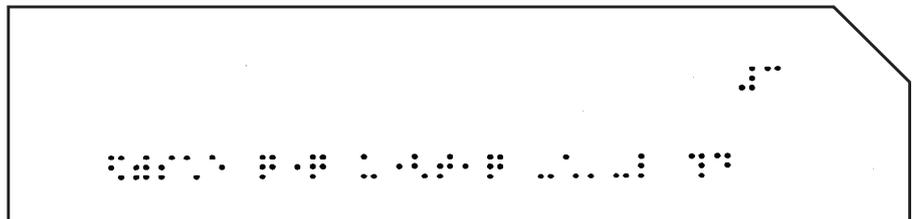
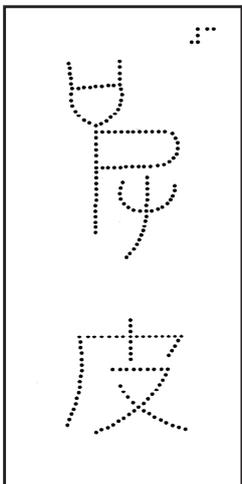
水の中 ひれやうろこのある 「魚」

2



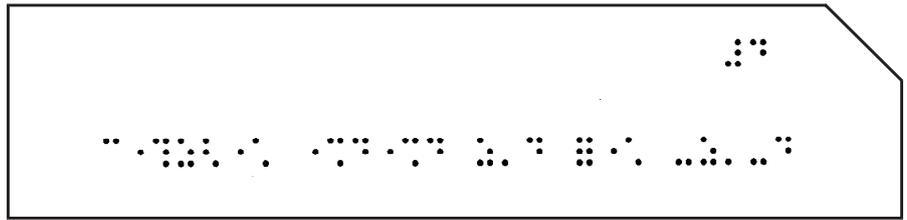
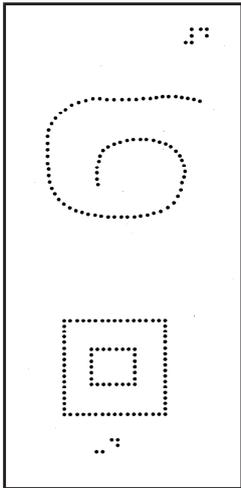
手を広げ 人が真っ直ぐ 「立」つ姿

3



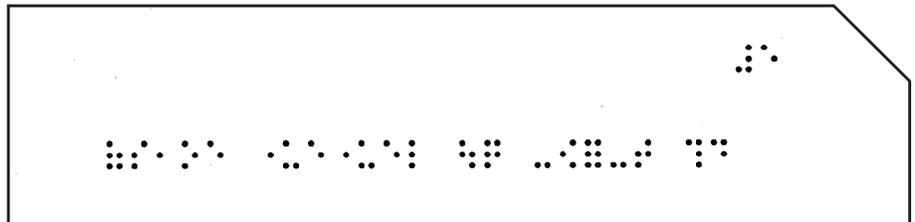
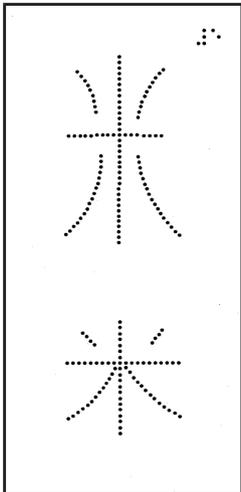
獣から 手ではぎ取って 「皮」にする

4



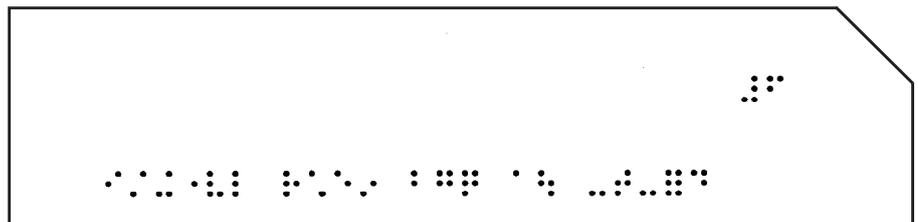
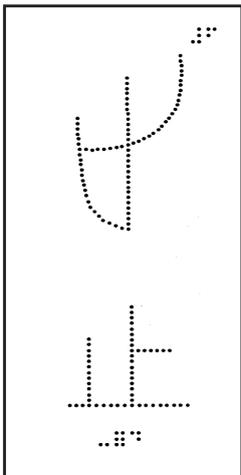
渦巻きが ぐるぐる回る 目が「回」る

5



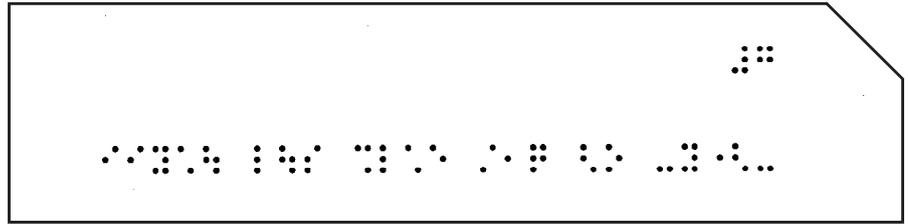
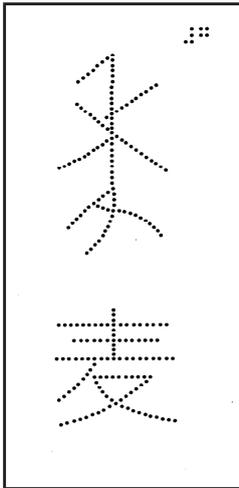
みのったら バラバラにして 「米」とする

6



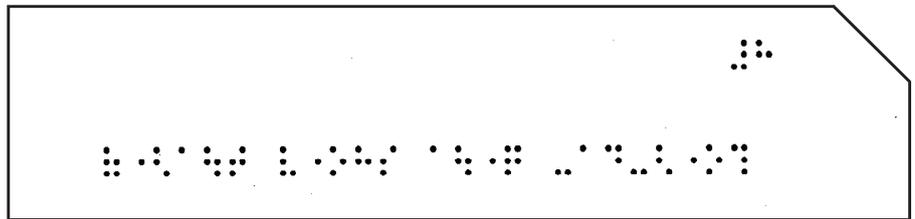
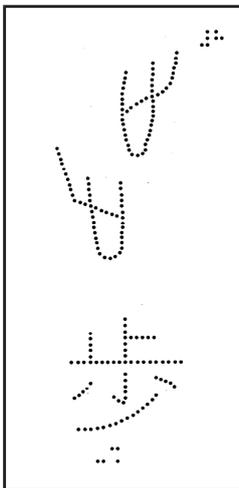
親指に 力を入れて 足「止」める

7



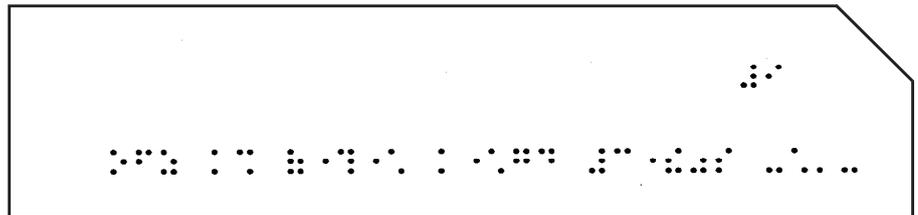
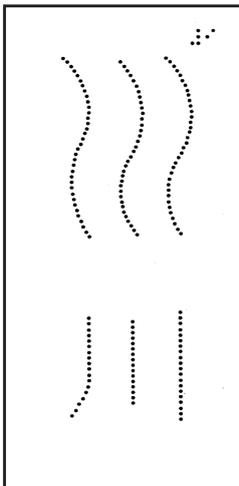
大昔 西の国から やってきた

8



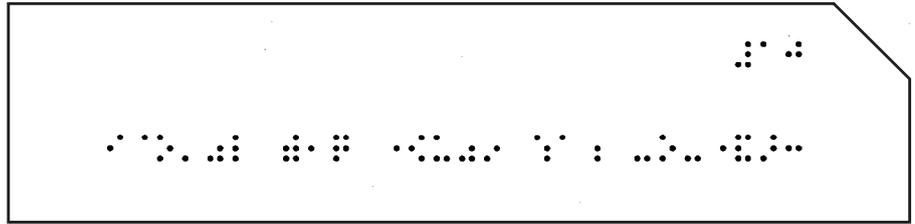
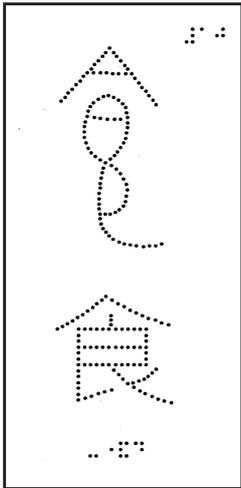
右足と 左の足で 「歩」き出す

9



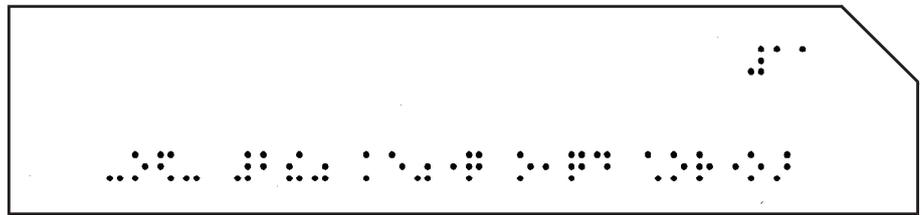
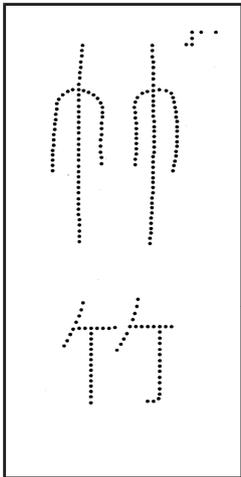
絶え間なく 水が流れる 三本の「川」

10



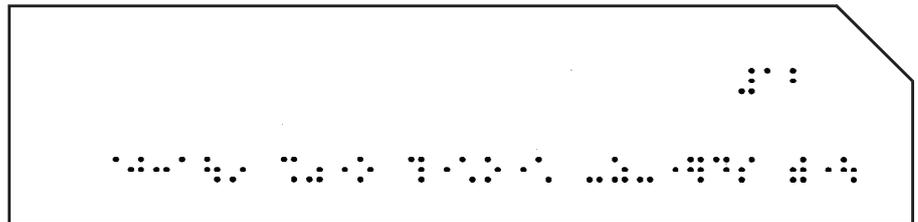
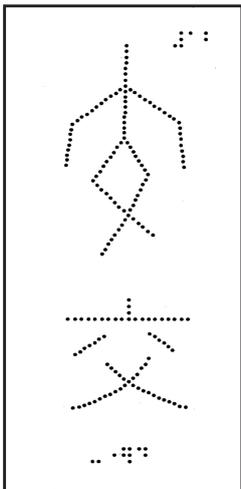
お茶碗に 盛ってご飯を さあ「食」べよう

11



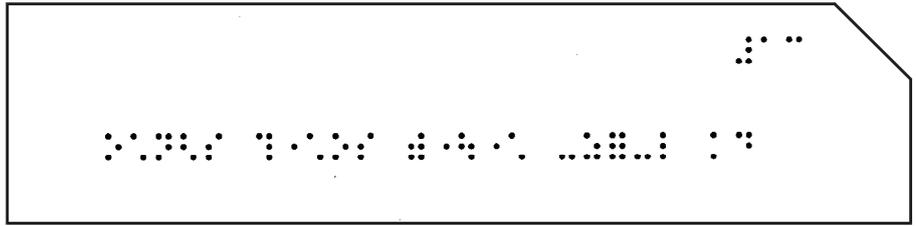
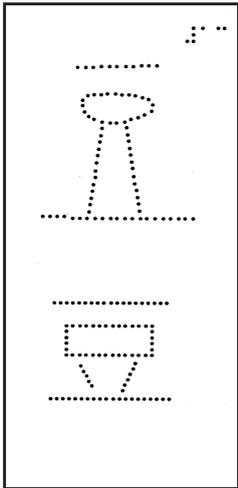
「竹」二本 並んで立ってる 形だよ

12



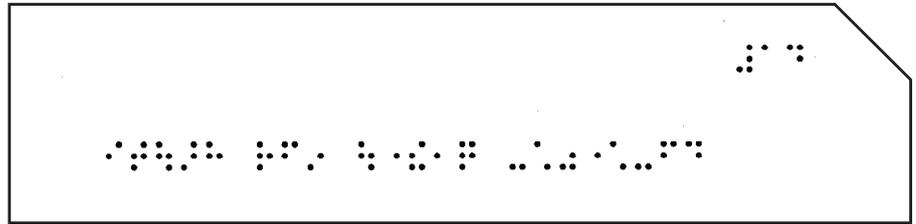
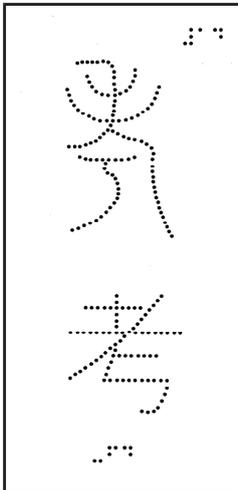
両足を 組んだ姿が 「交」 ぜるの文字

13



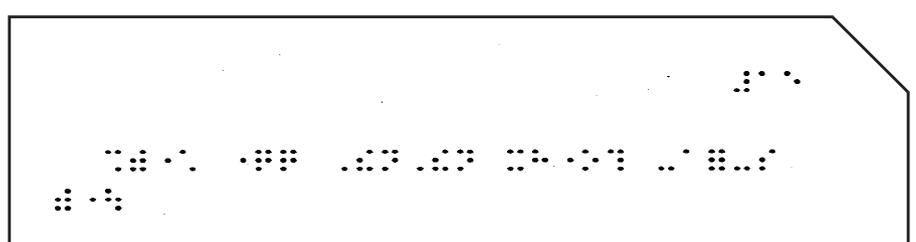
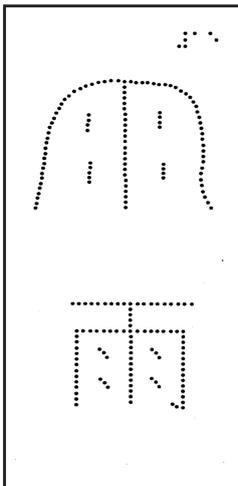
高坏の 姿の文字が 「豆」になる

14



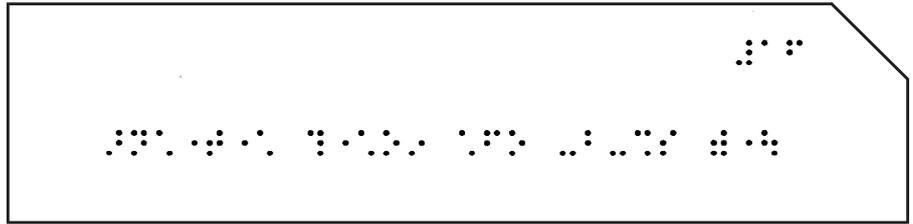
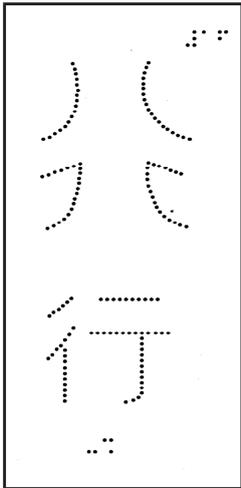
お年寄り 知恵を絞って 「考」える

15



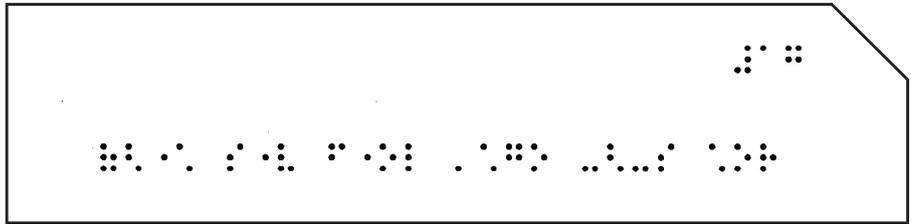
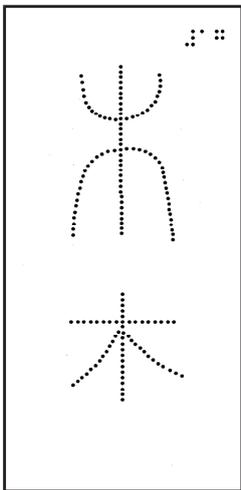
雲が出て ポツポツ降り出す 「雨」の文字

16



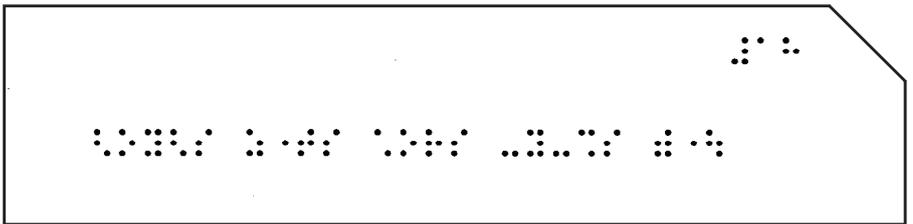
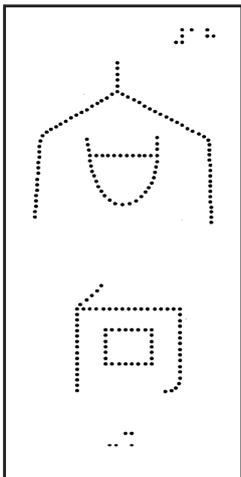
四つ角が 姿を変えた 「行」くの文字

17



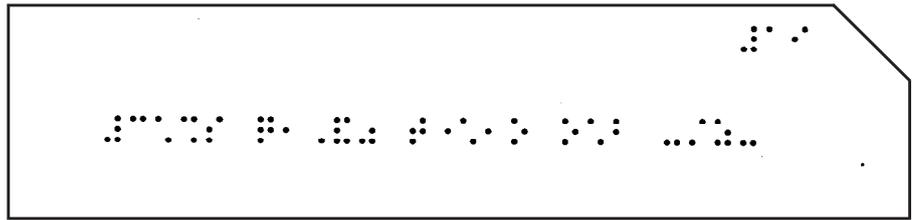
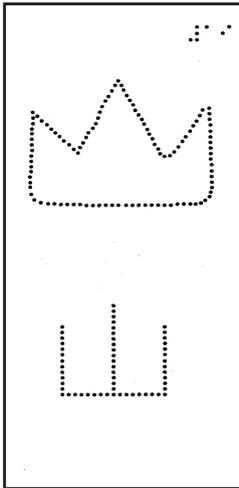
幹が伸び 枝に分かれた 「木」の形

18



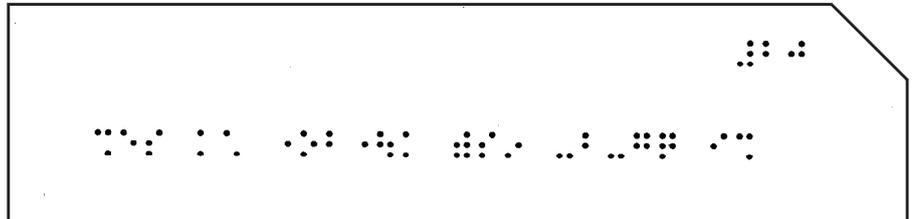
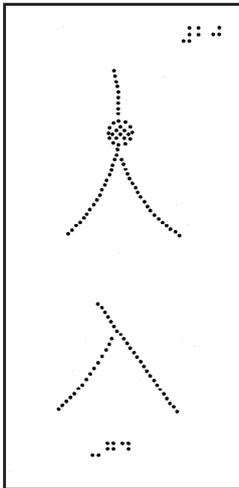
北向きの 窓の形の 「向」くの文字

19



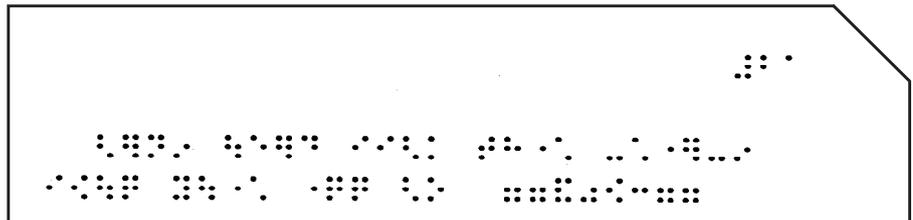
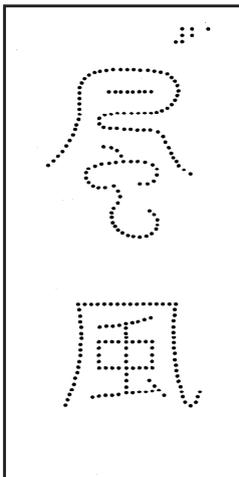
三角の てっぺん尖った 高い「山」

20



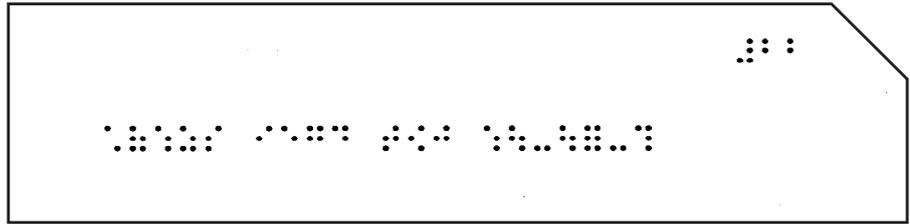
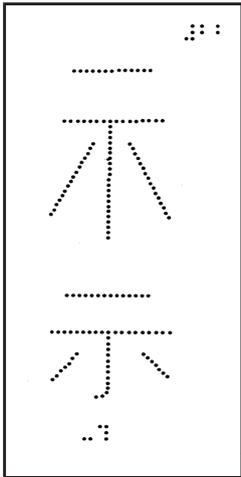
倉の中 大事なものを 「入」 れておく

21



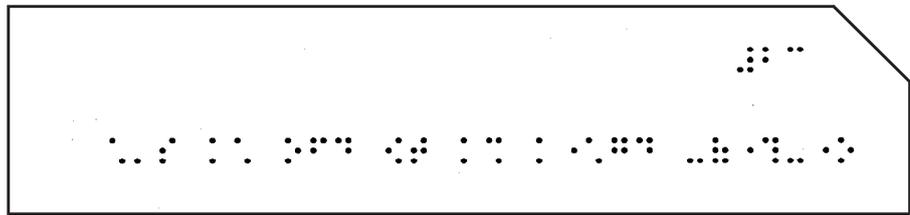
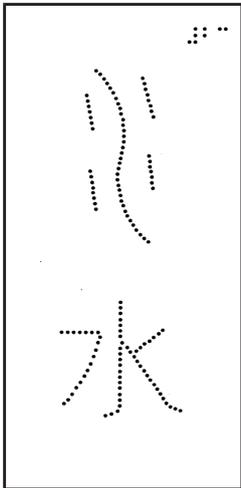
季節を知らせる 大きな鳥が 「風」 を起こして 虫が出てきた (変更)

2 2



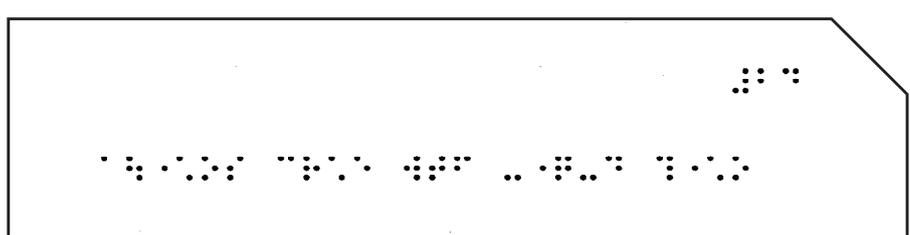
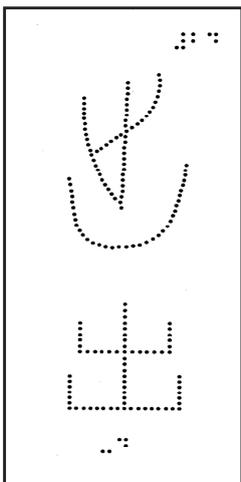
神様の おられる所 さし「示」す

2 3



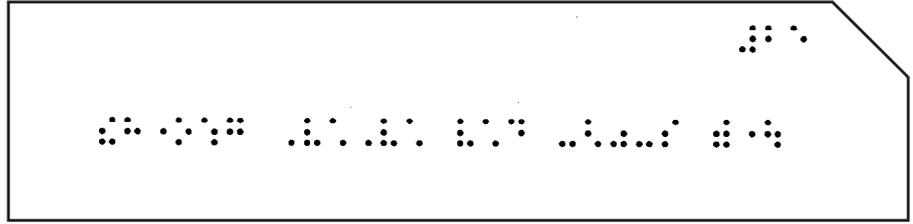
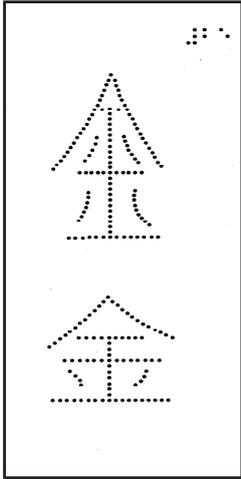
川の中 絶えることなく 流れる「水」だ

2 4



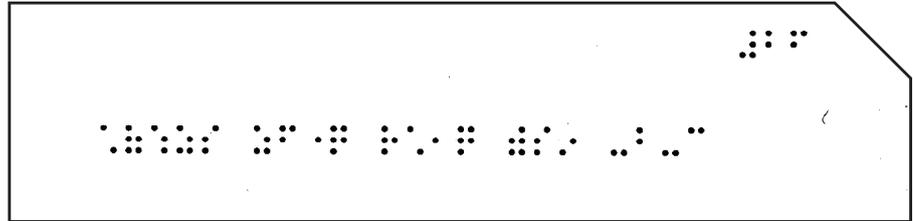
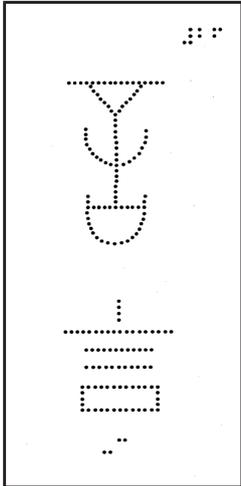
足形の 内から外へ 「出」る姿

25



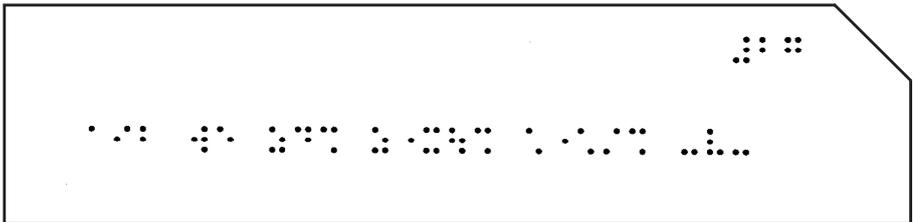
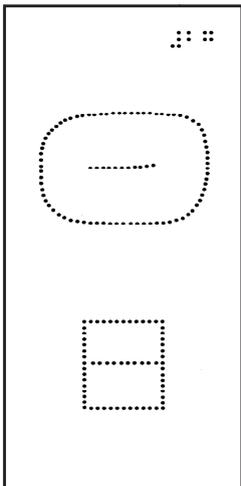
掘り出され ピカピカ光る 「金」の文字

26



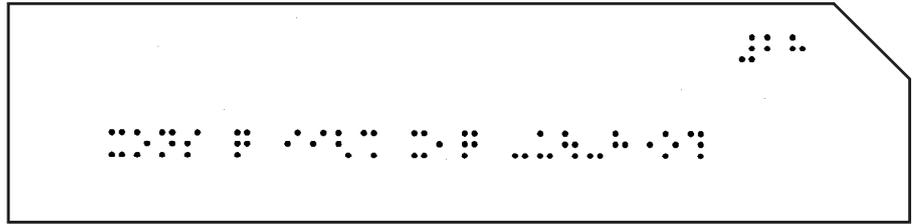
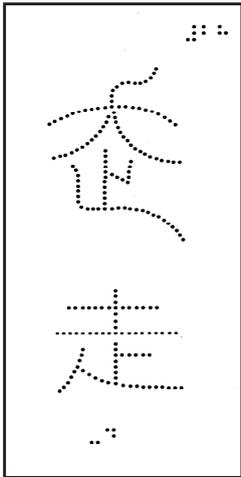
神様の 前で誓って ものを「言」う

27



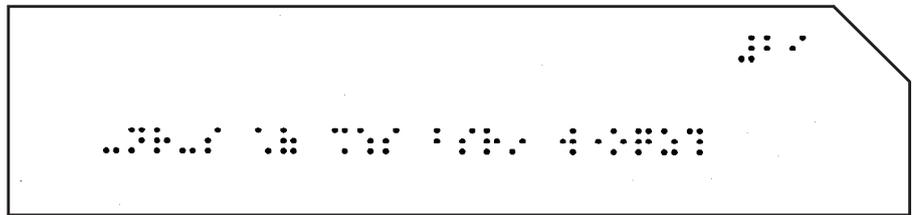
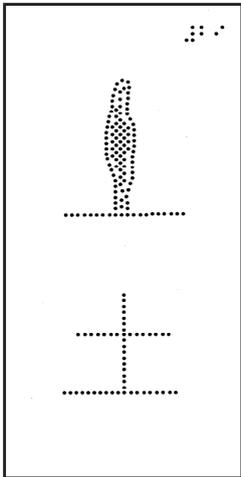
青い空 丸く眩しく 輝く「日」

28



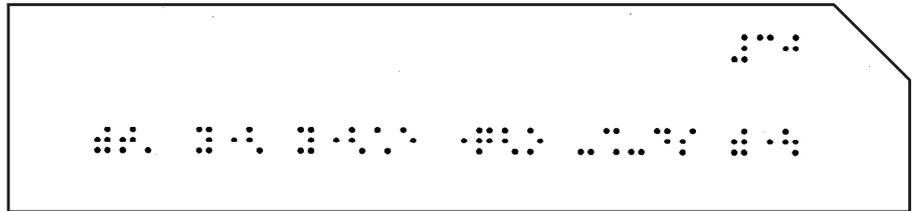
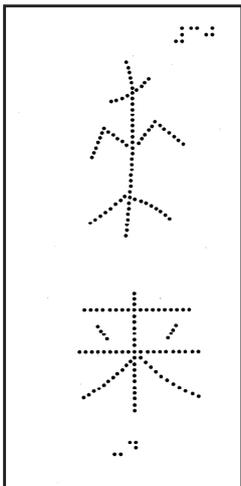
二つの手 大きく振って 「走」り出す

29



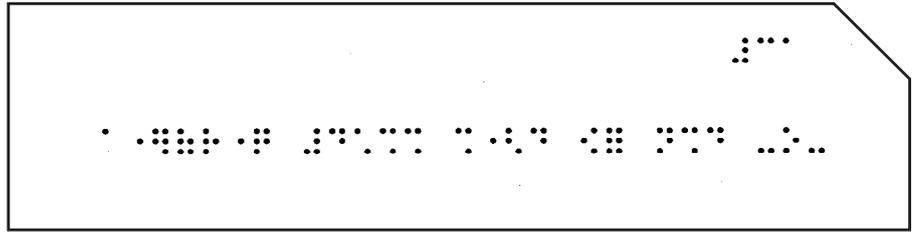
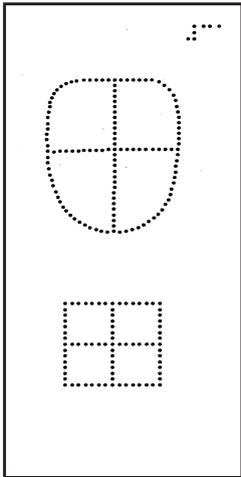
「土」の神 草の命を 育てます

30



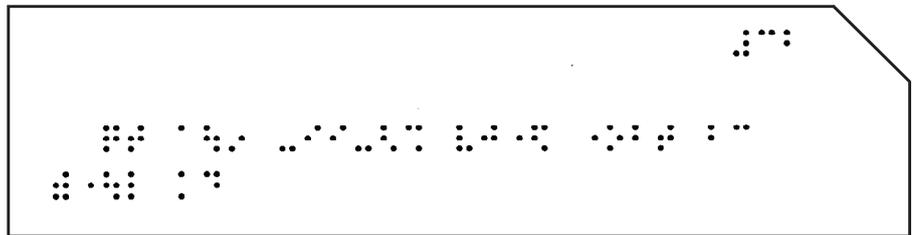
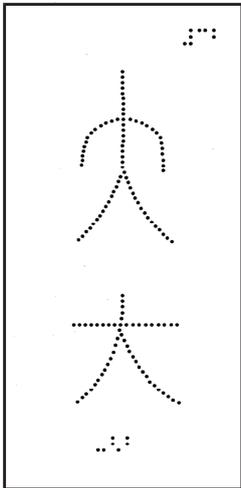
もとは麦 麦からできた 「来」るの文字

3 1



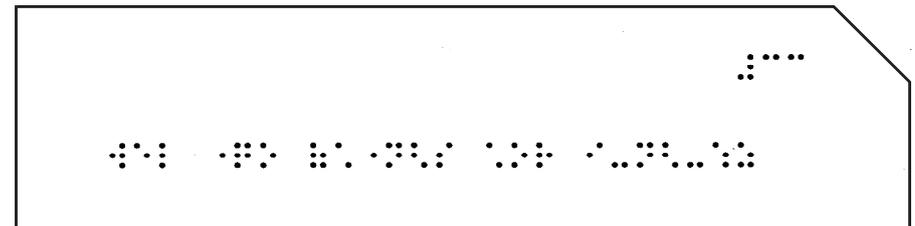
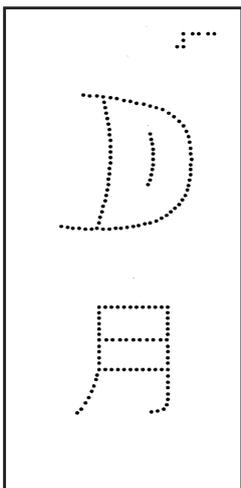
あぜ道で 四角く区切る 米作る「田」

3 2



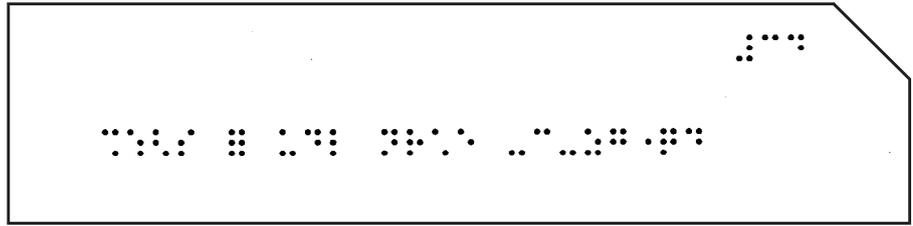
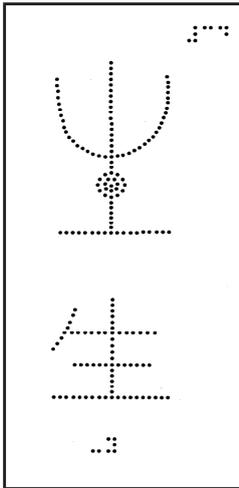
手と足を 「大」 大きく広げ 大という文字になる

3 3



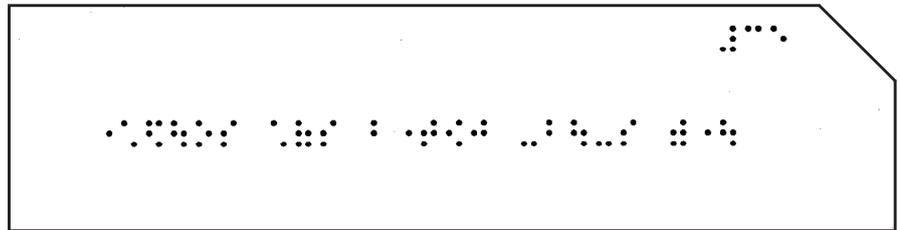
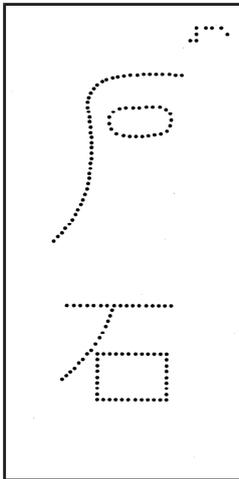
空に出た 三日月の形 お「月」さま

34



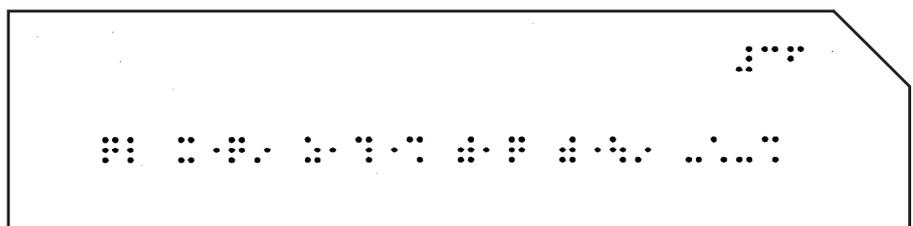
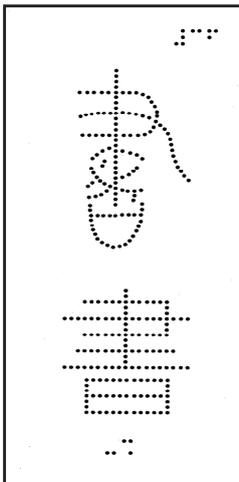
草木の芽 春に土から 「生」まれ出る

35



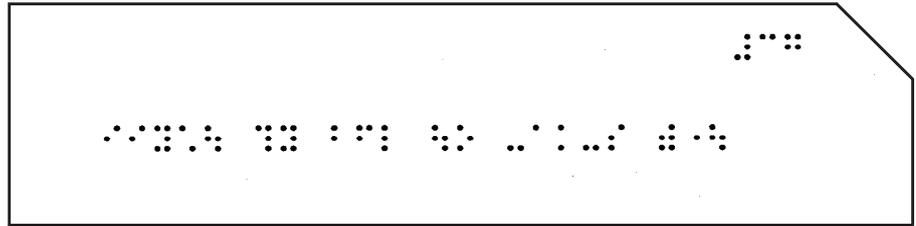
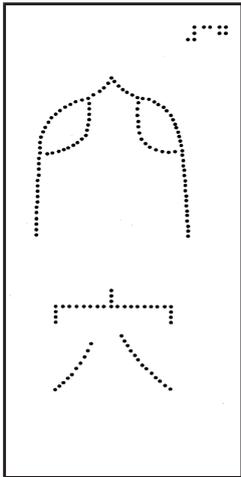
崖下の 神の居所 「石」の文字

36



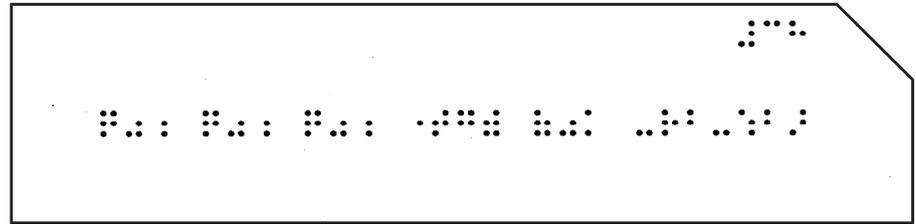
手に筆を 真っ直ぐ持って 文字を「書」く

37



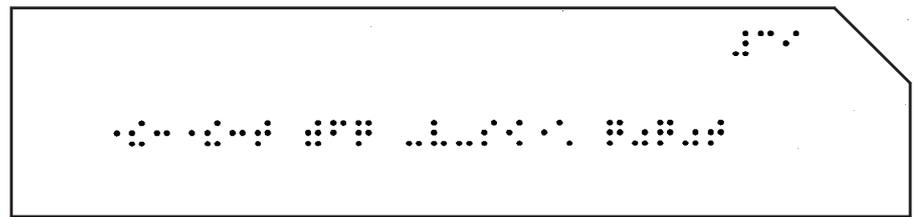
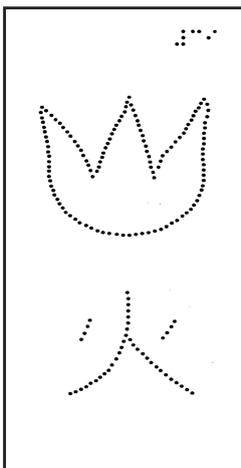
大昔 住む家にした 「穴」 の文字

38



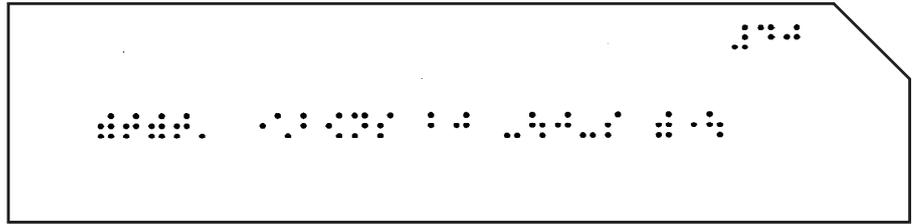
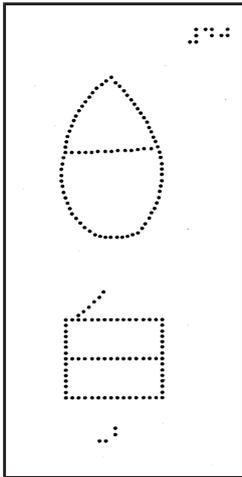
てん、てん、てん、 どれもみんな 「小」 さいよ

39



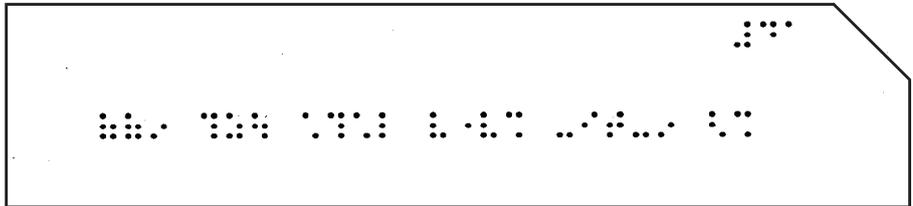
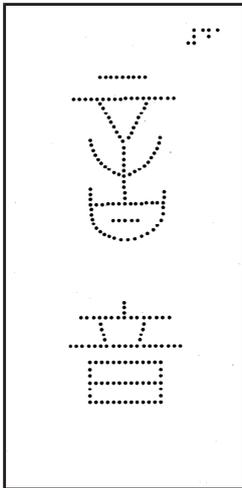
ぼうぼうと 燃えて「火」のこが 点々と

40



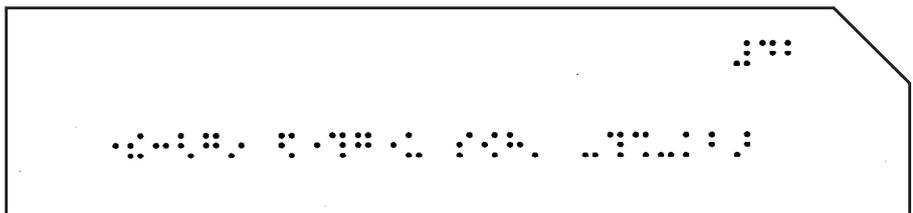
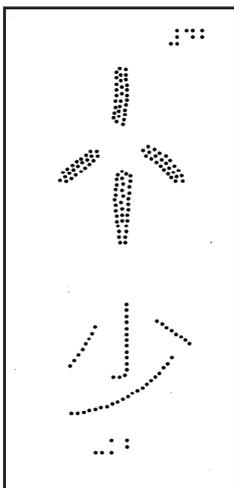
元々は 骸骨の色 「白」の文字

41



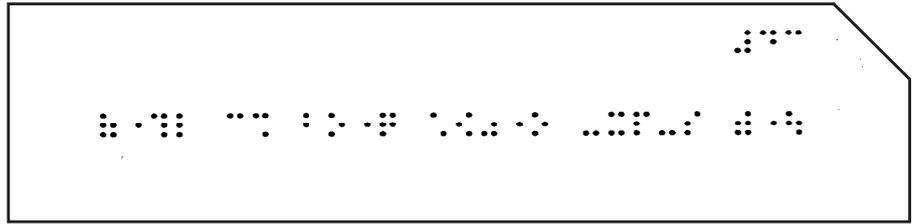
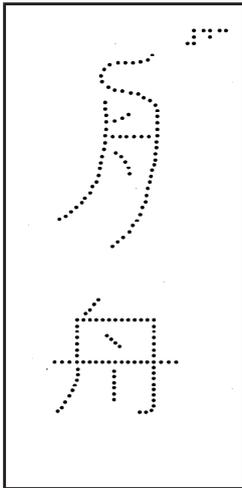
耳をすまし かすかに響く 「音」を聞く

42



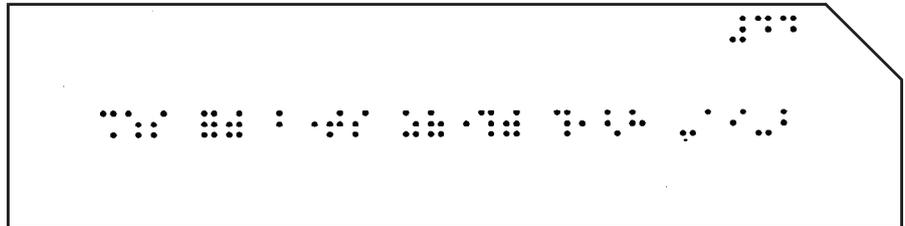
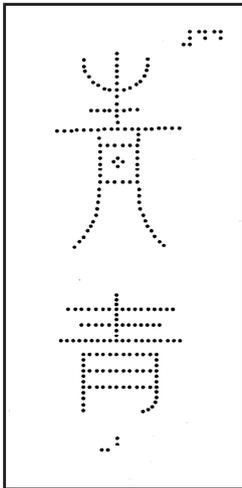
棒切れを 削れば残りは 「少」ないよ

4 3



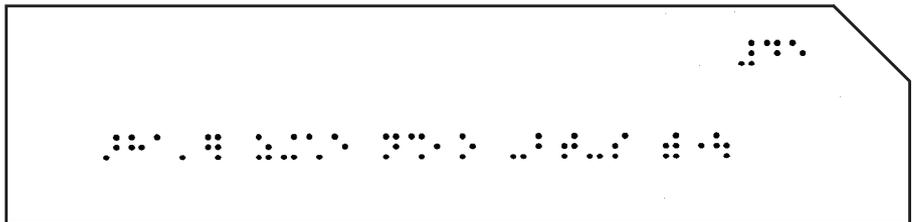
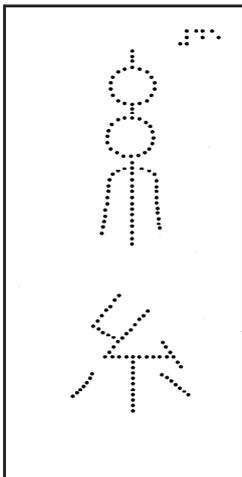
水に浮く 板で囲んだ 「舟」の文字

4 4



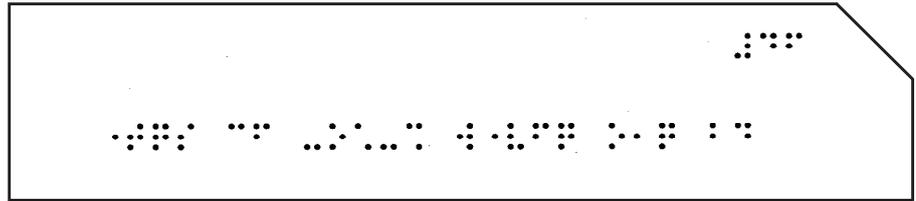
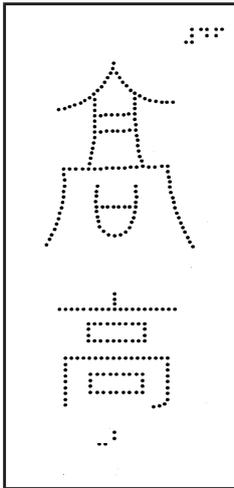
草の芽も 井戸の真水も すっきり「青」い

4 5



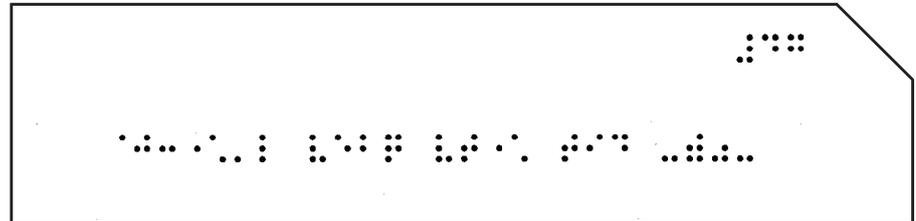
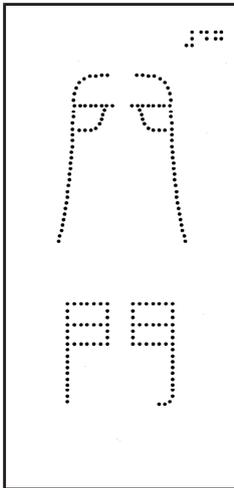
寄り合わせ 繭から作った 「糸」の文字

46



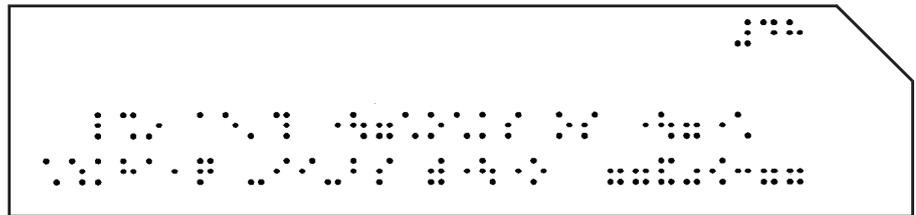
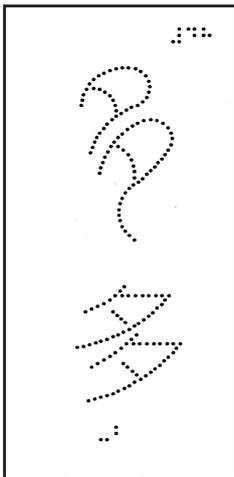
土手の上 「高」くそびえて 立っている

47



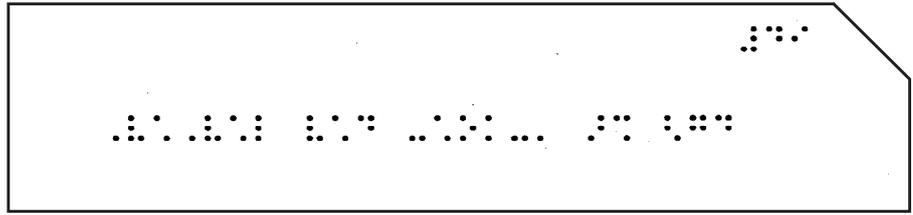
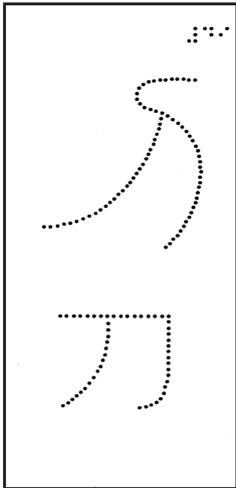
両側に 開いて人が 通る「門」

48



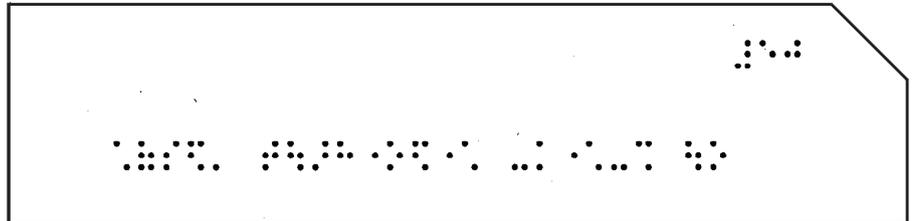
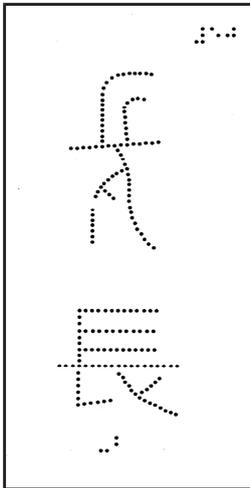
肉を表す字（片仮名のタの字）が 重なり合って「多」いの文字だ（変更）

49



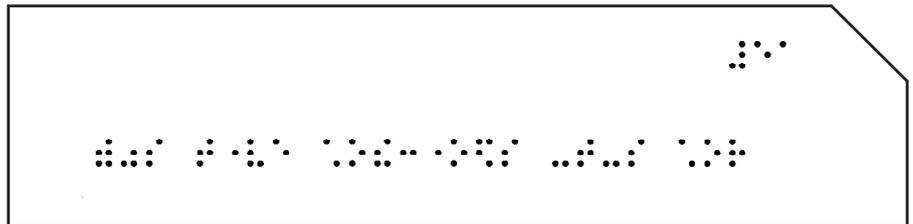
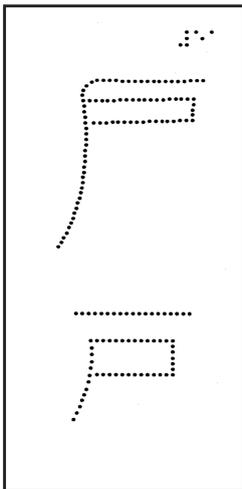
ピカピカに 光る「刀」は よく切れる

50



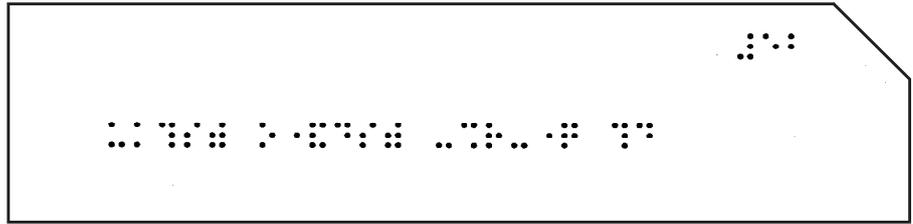
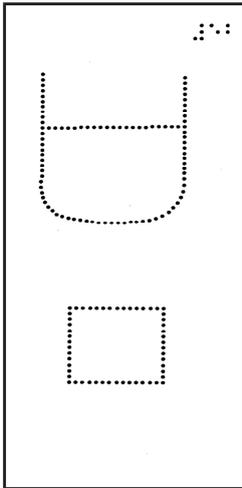
髪の毛は 年寄りだけが 「長」くした

51



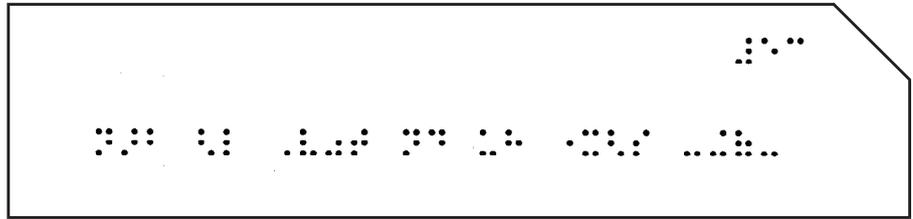
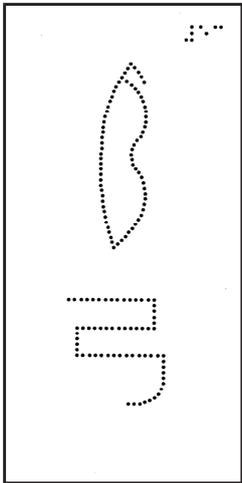
門の扉 片方だけの 「戸」の形

5 2



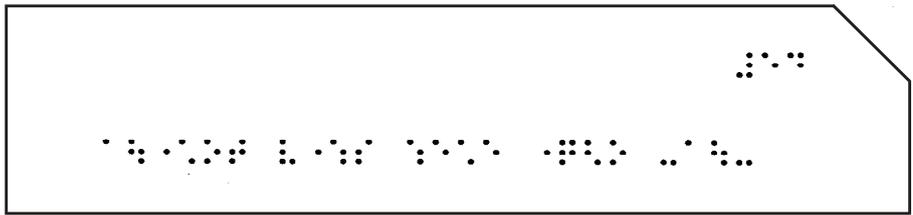
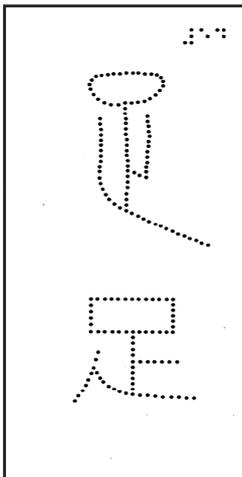
話すのも 食べるのも 「口」 である

5 3



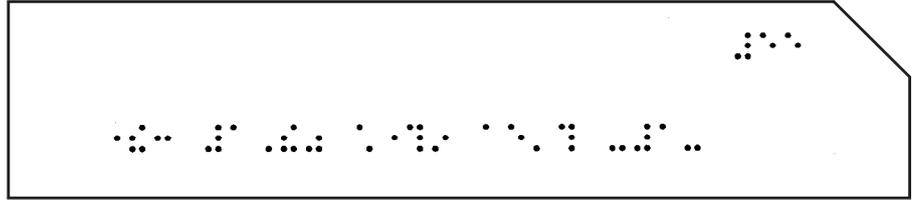
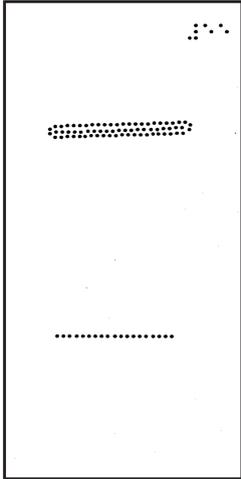
強い木に ピンとつる張り 武器の「弓」

5 4



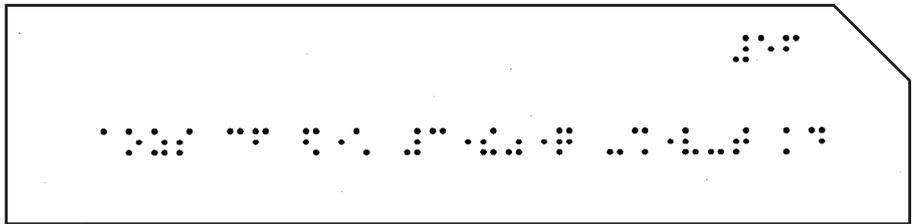
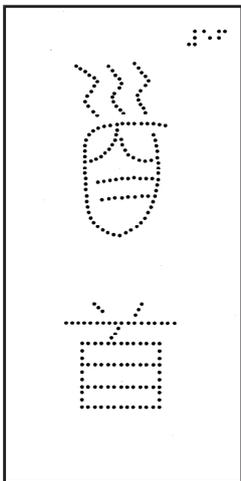
足形と 膝の皿から できた「足」

5 5



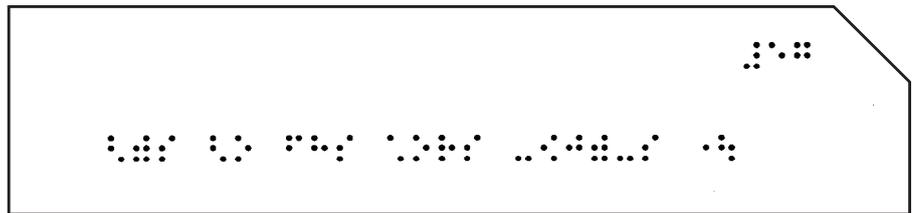
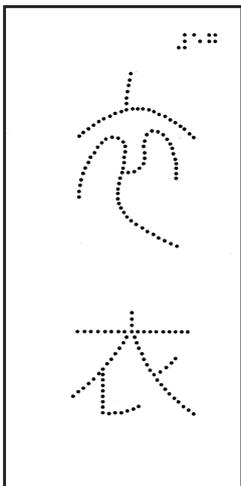
棒一本 数を表す 「一」

5 6



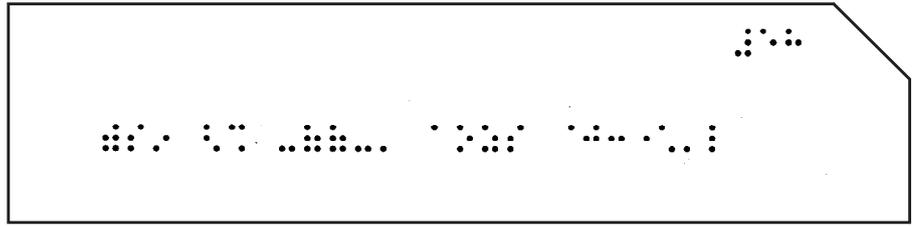
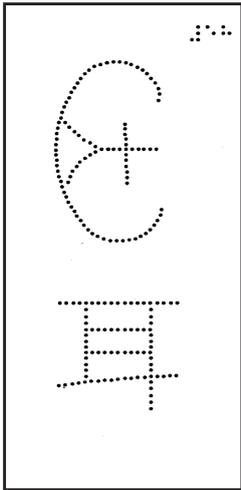
頭の上 毛が三本で 「首」 となる

5 7



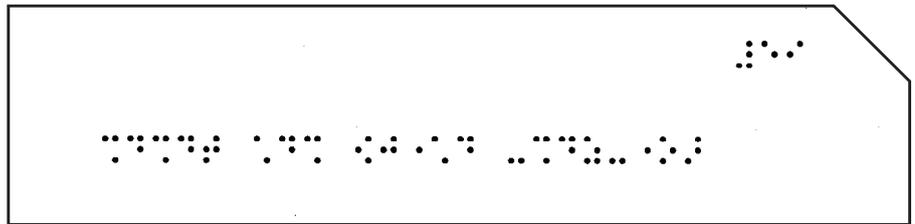
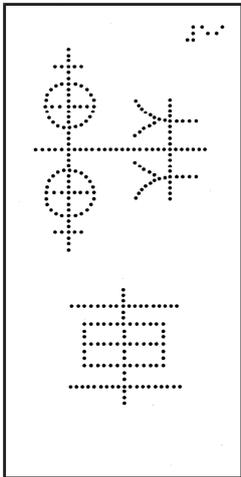
着物きた 襟の形の 「衣」 の字

58



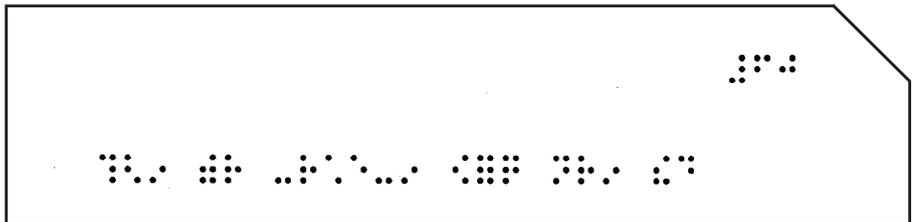
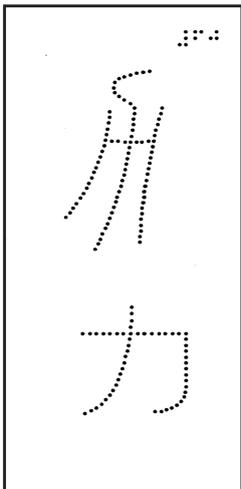
ものを聞く 「耳」は頭の 両側に

59



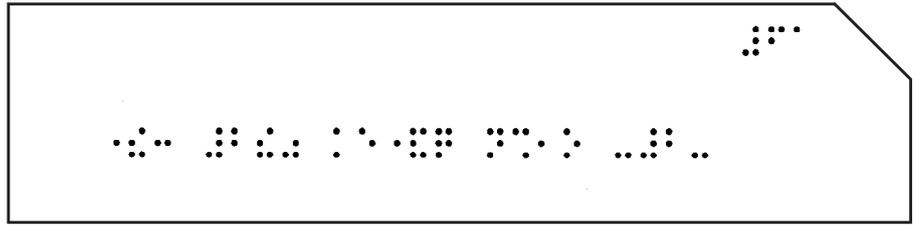
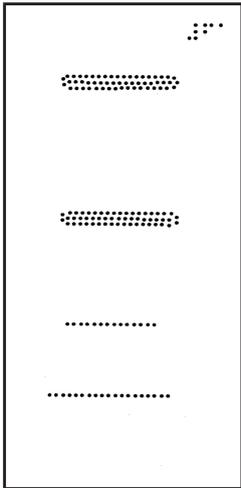
くるくると 軽く転がる 「車」だよ

60



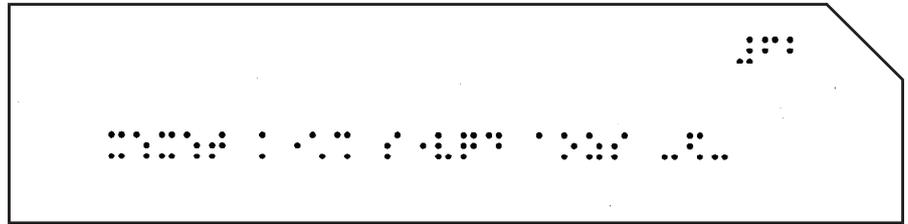
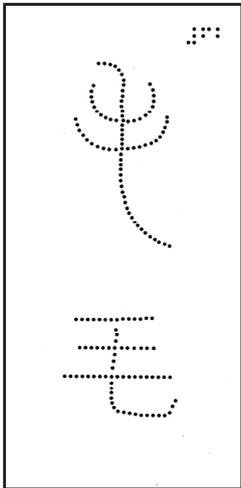
すきを持つ 「力」を込めて 土を掘る

6 1



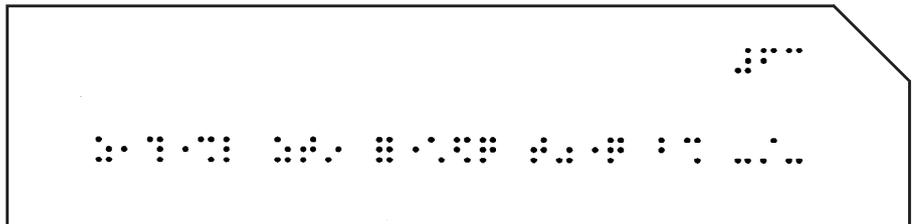
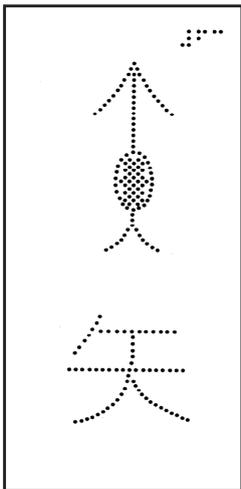
棒二本 並べて作った 「二」

6 2



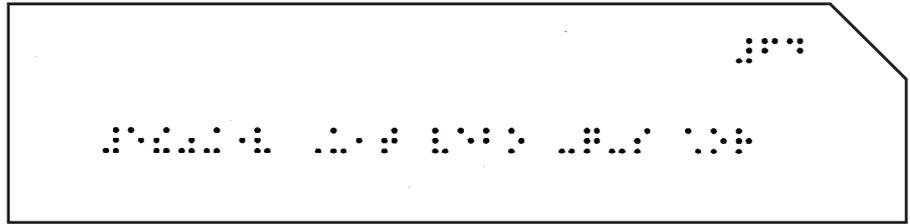
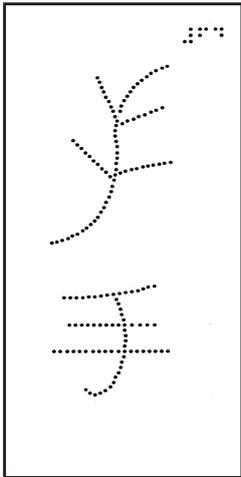
ふさふさと 長く伸びてる 頭の「毛」

6 3



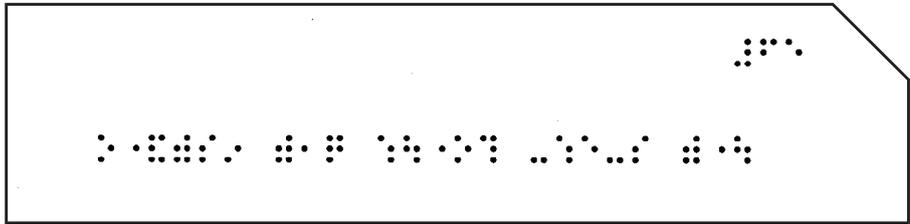
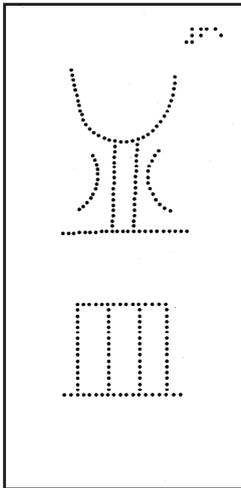
真っ直ぐに 的をめがけて 飛んでいく「矢」

6 4



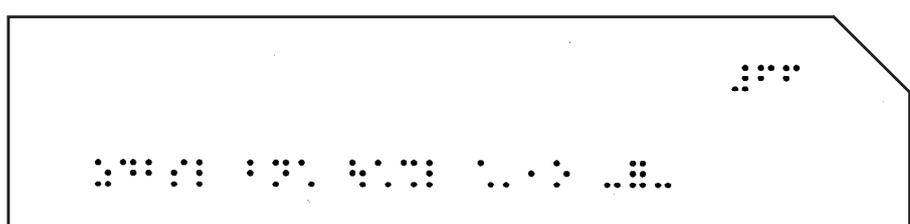
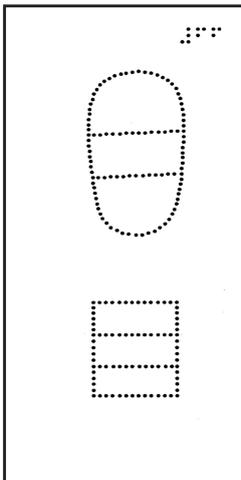
五本指 ぱっと開いた 「手」の形

6 5



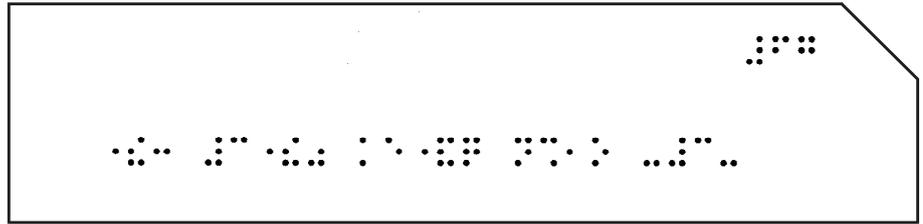
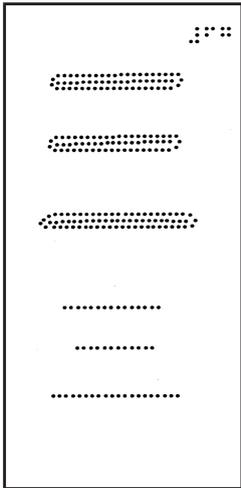
食物を 持って差し出す 「皿」の文字

6 6



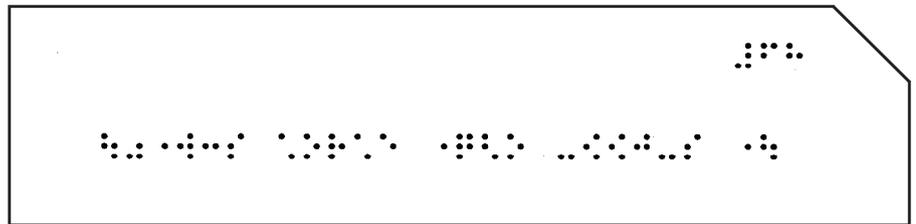
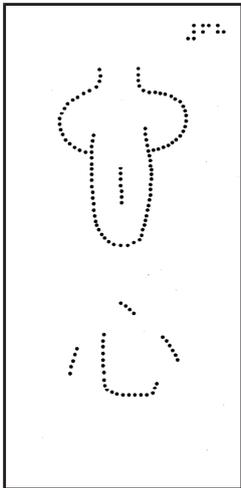
丸いのに いつ四角に変わった 「目」

67



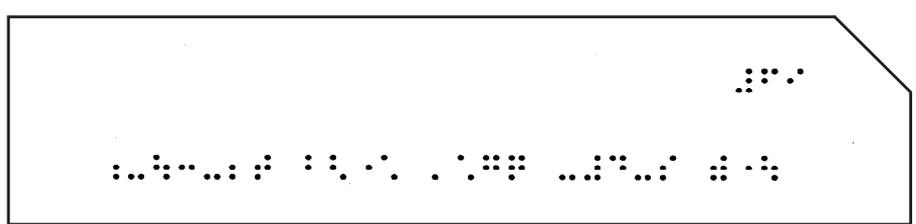
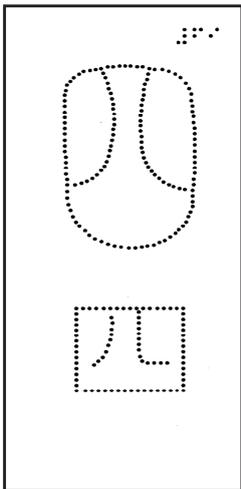
棒三本 並べて作った 「三」

68



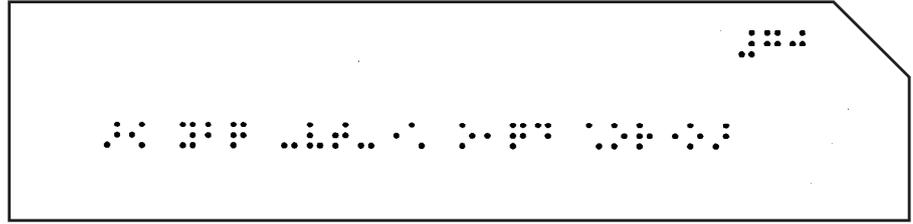
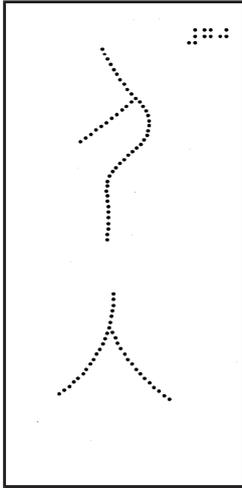
心臓の 形から出来た 「心」 の字

69



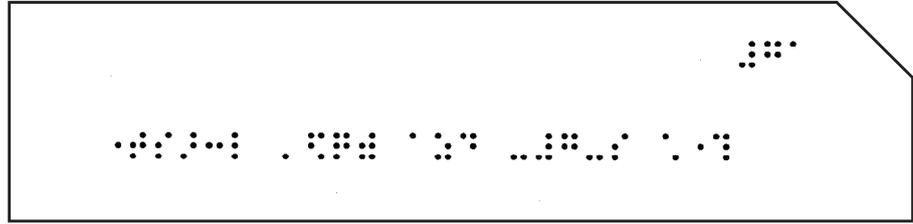
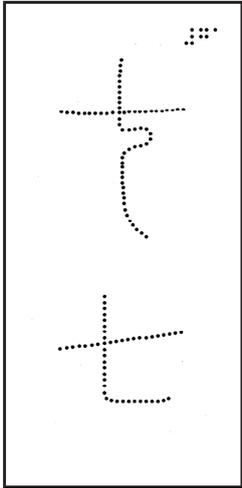
「シー」と 息が分かれて 「四」 の文字

70



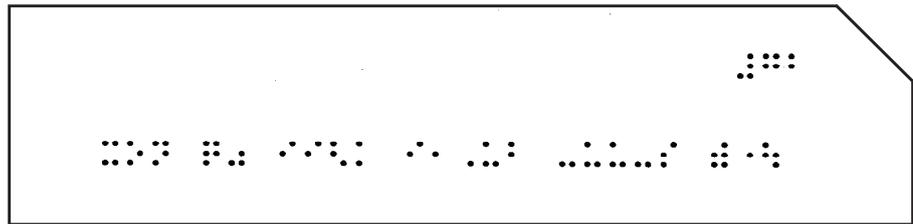
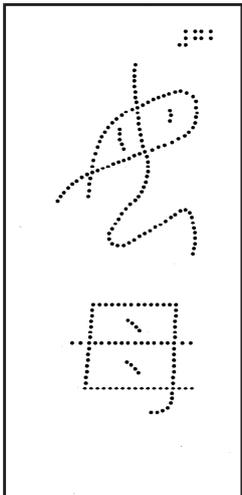
横向いて 「人」が立ってる 形だよ

71



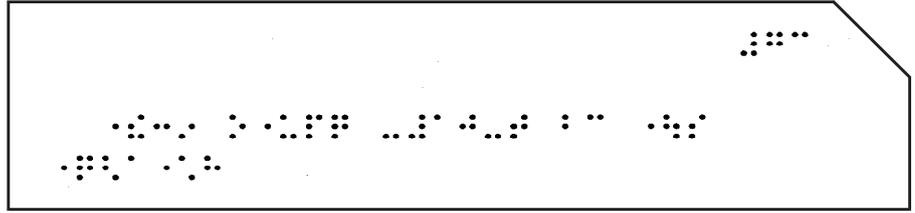
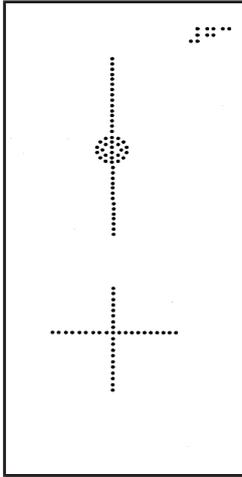
どのように 分けても余る 「七」の数

72



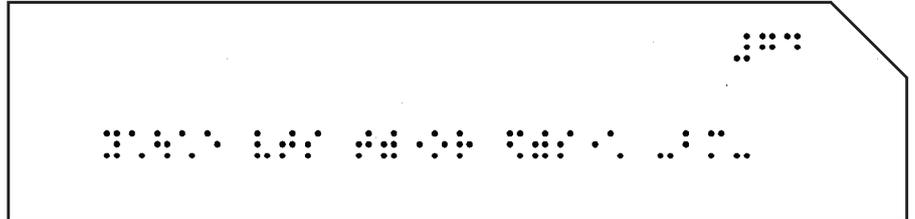
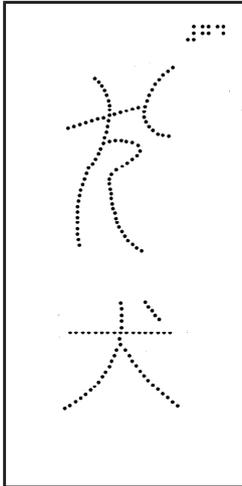
二つの点 大きなおっばい 「母」の文字

73



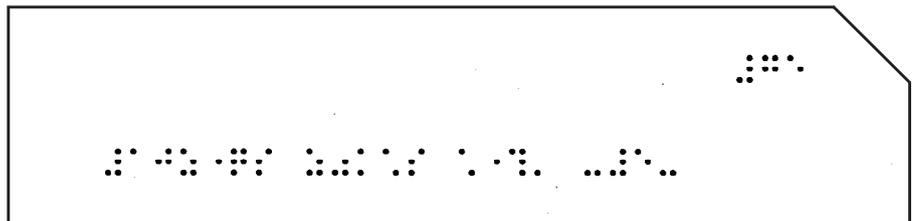
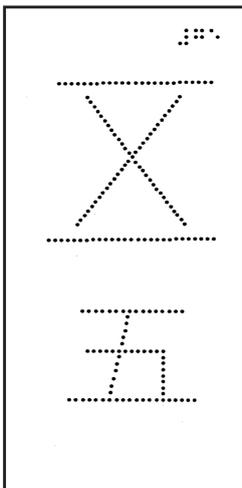
棒を束ねて 「十」という 字の出来上がり

74



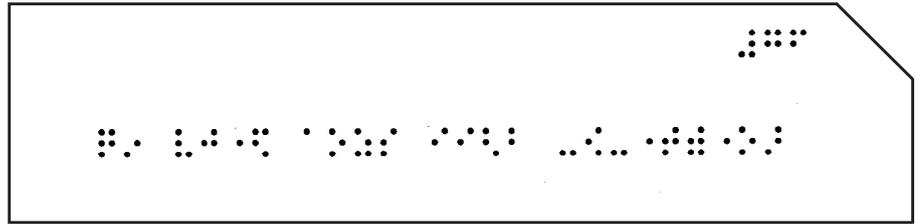
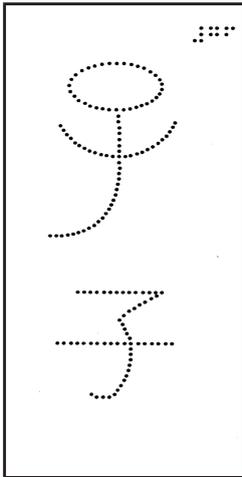
昔から 人の友だち けものが「犬」

75



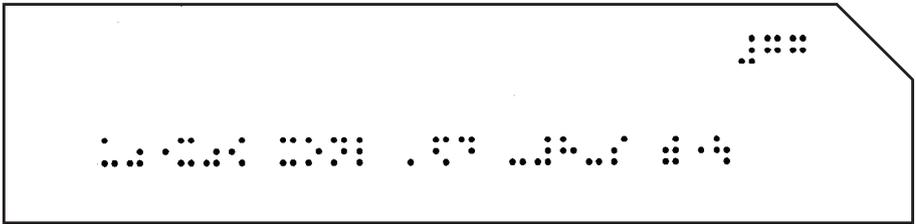
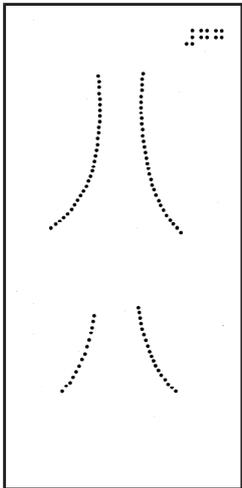
十までの 真ん中の数は 「五」

76



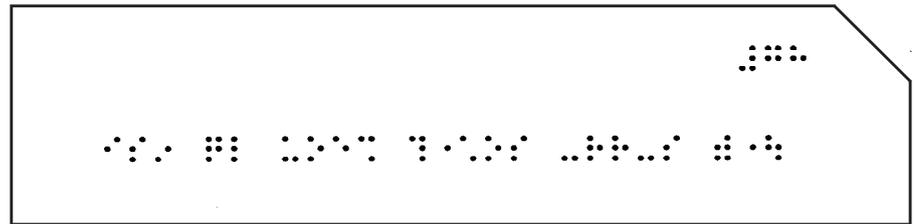
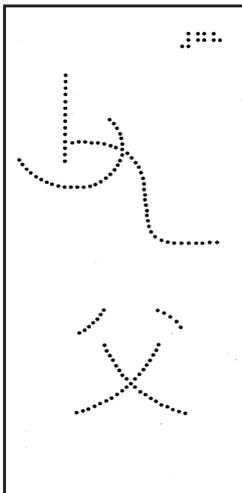
手を広げ 頭の大きい 「子」 どもだよ

77



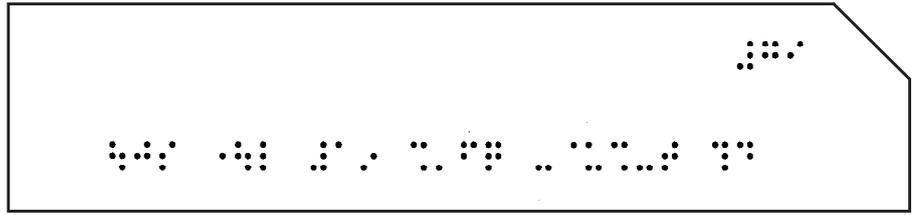
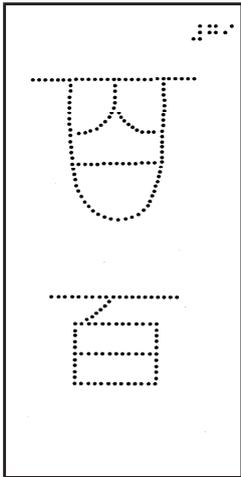
半分こ 二つに分ける 「八」 の文字

78



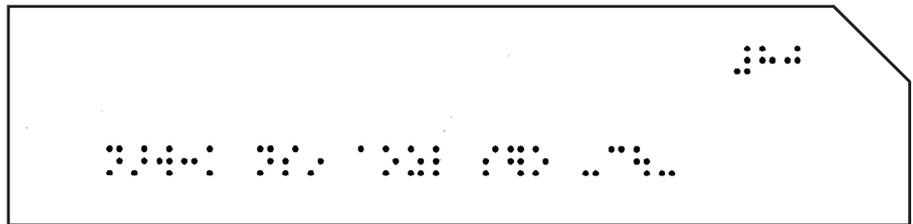
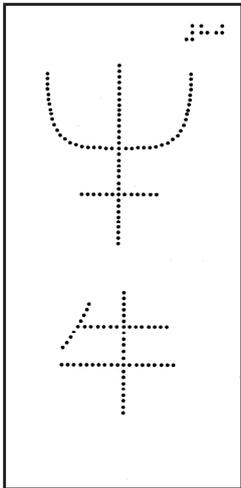
斧を手に 働く姿の 「父」 の文字

79



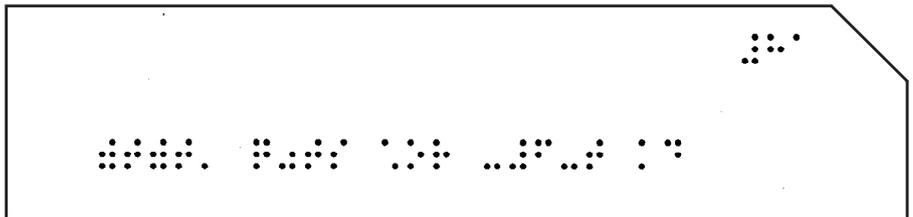
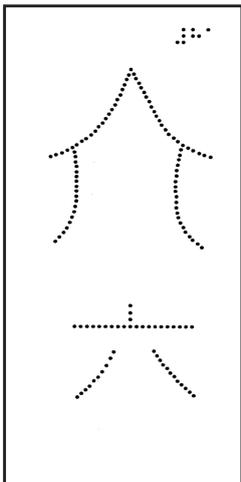
白の字に 一を加えて 「百」とする

80



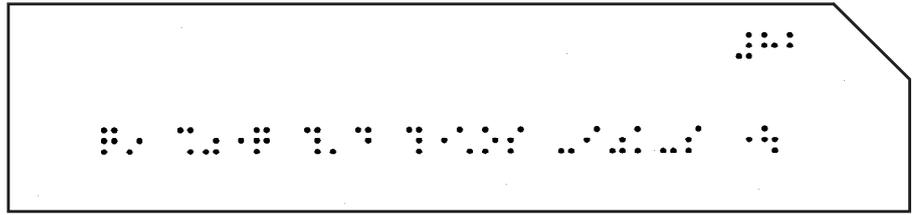
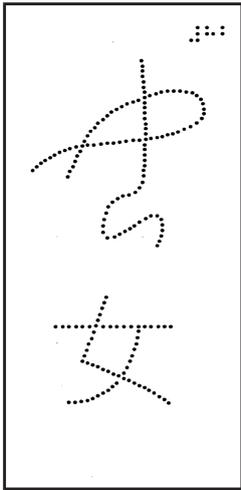
強そうな 角を頭にのせた 「牛」

81



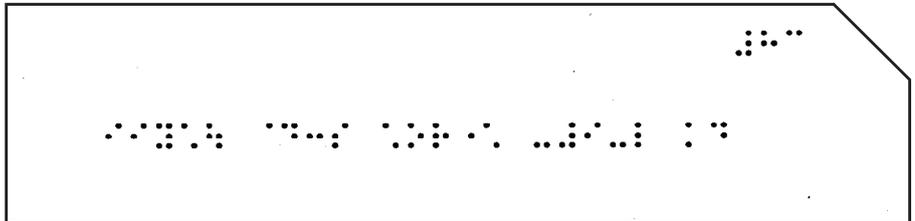
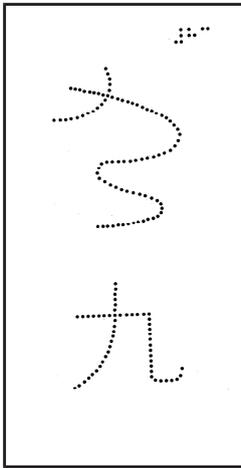
もともとは テントの形 「六」となる

8 2



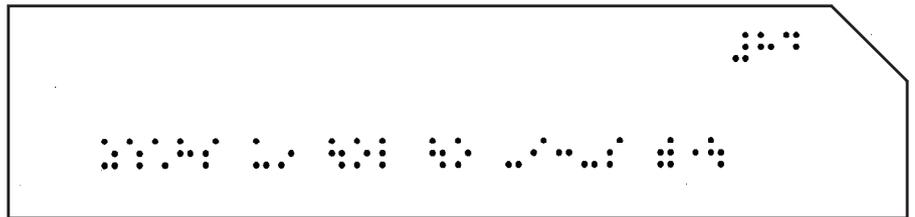
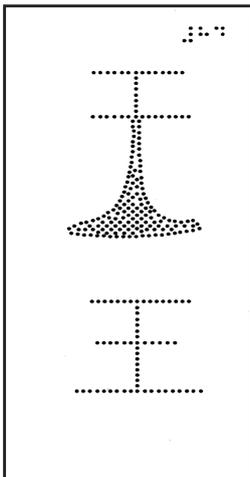
手を組んで 座る姿の 「女」 の字

8 3



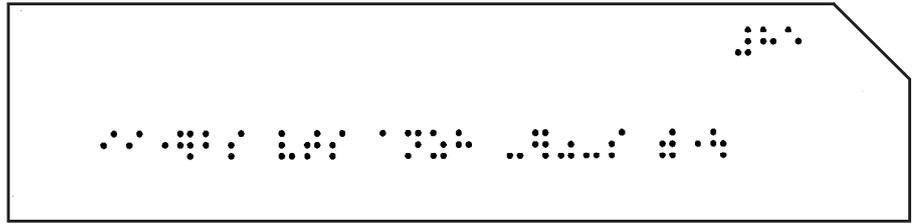
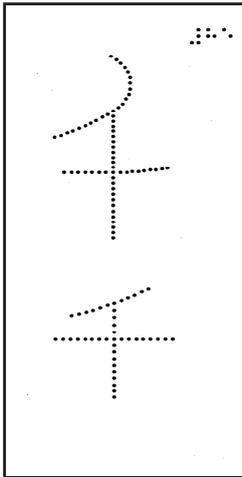
大昔 竜の形が 「九」 になる

8 4



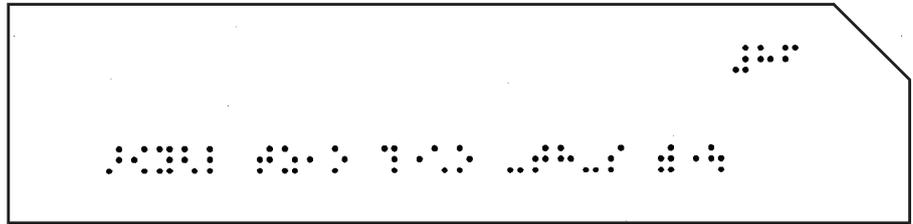
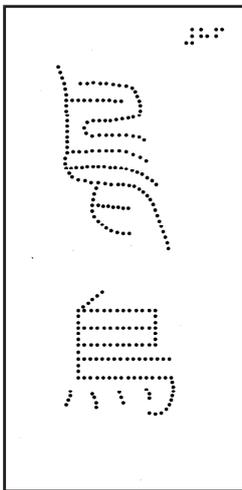
まさかりの 刃を下にした 「王」 の文字

85



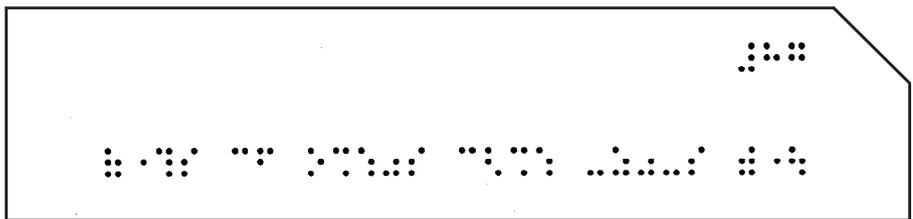
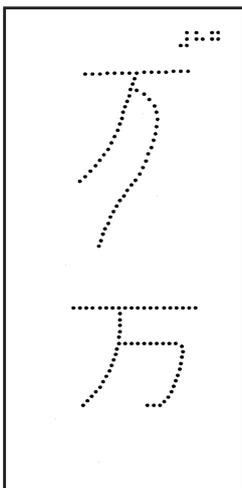
大勢の 人の集まり 「千」の文字

86



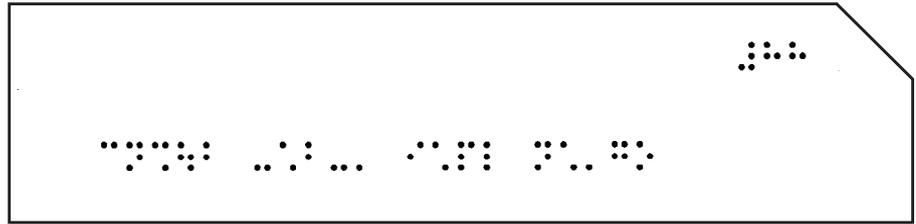
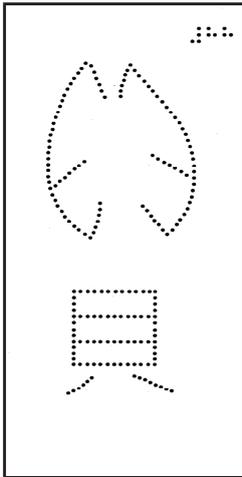
横向きに 止まった姿 「鳥」の文字

87



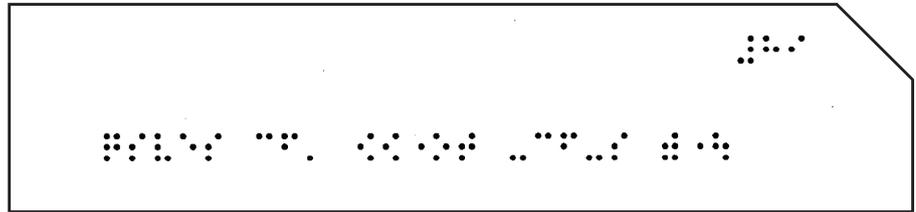
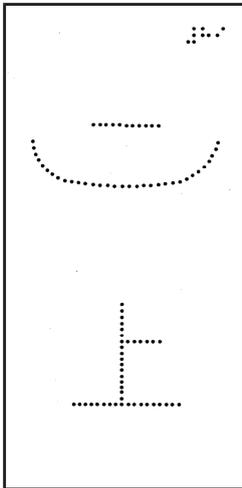
水の上 たくさんの浮き草 「万」の文字

88



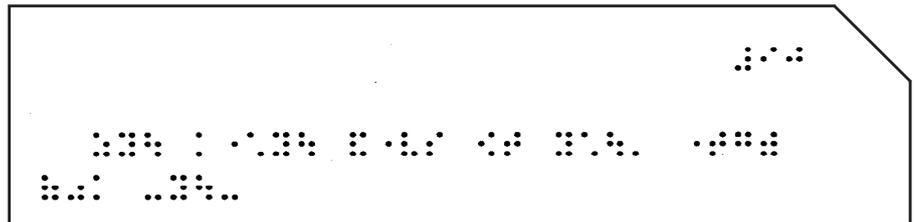
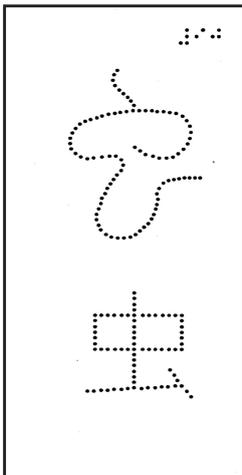
美しい 「貝」は お金に使われた

89



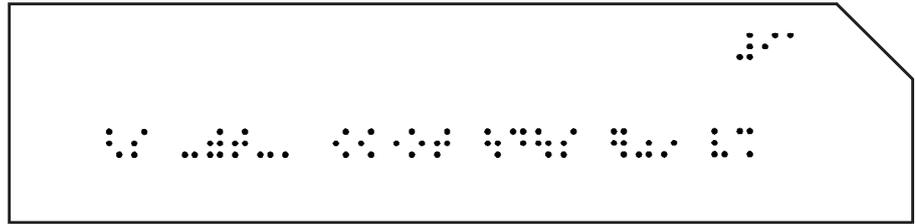
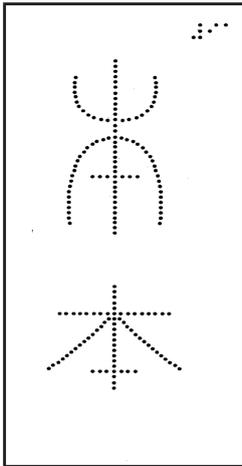
手のひらの 上はここだと 「上」の文字

90



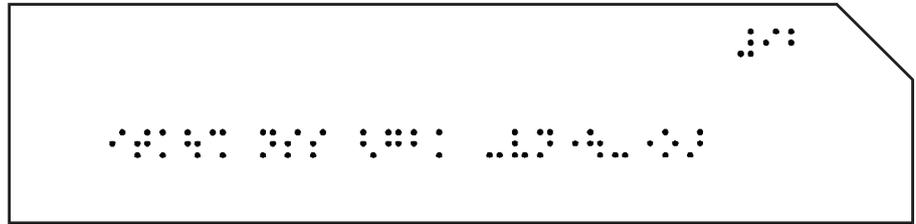
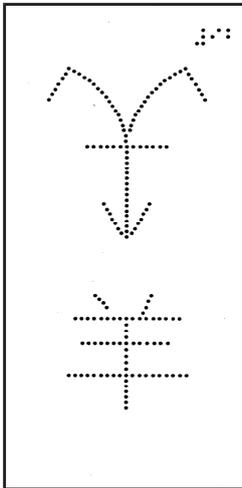
まむし長虫 蛇のこと 昔はどれも みんな「虫」

9 1



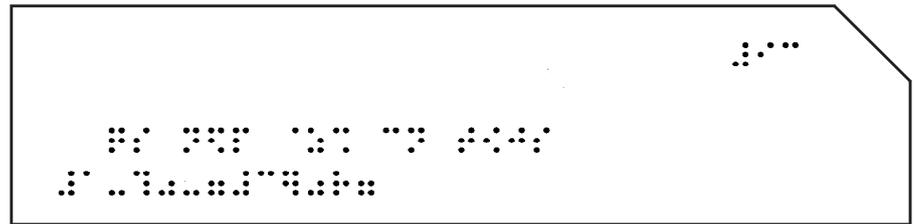
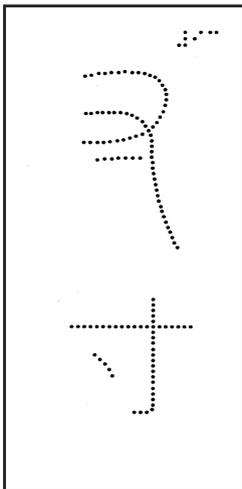
木の「本」は ここだと 印の線を書く

9 2



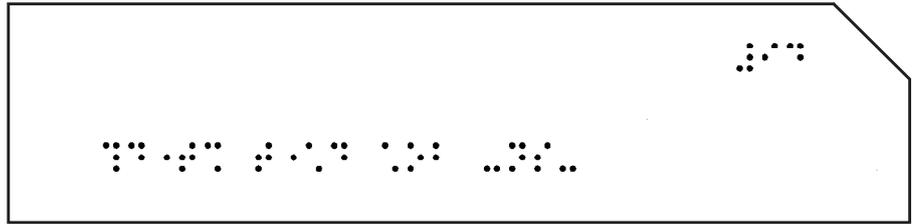
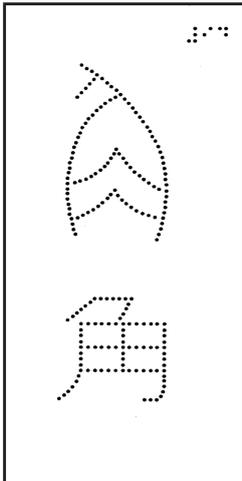
おとなしく 角のきれいな 「羊」だよ

9 3



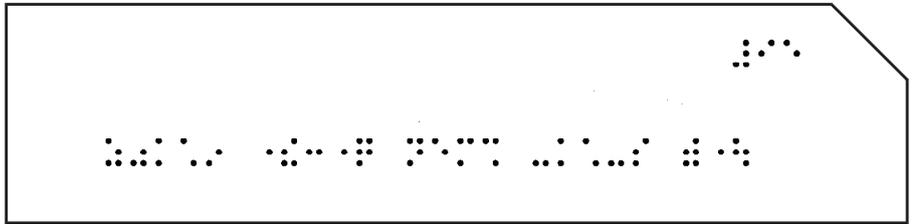
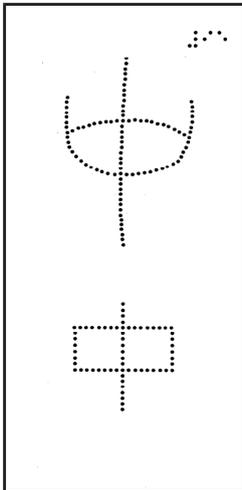
手の付け根 脈打つところの 一「寸」(3 cm)

9 4



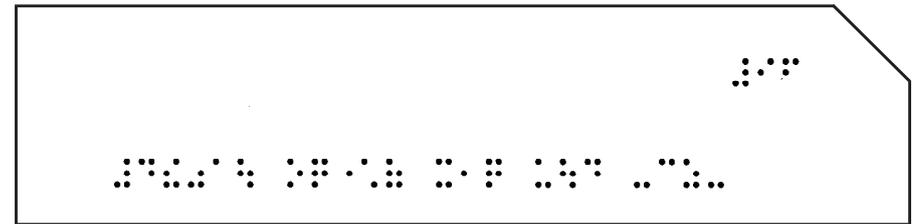
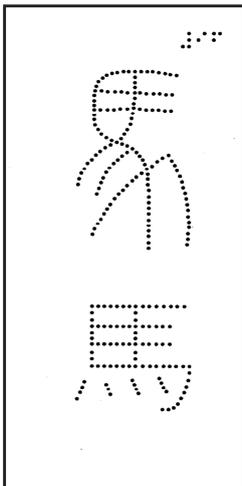
鋭く 尖る 固い「角」

9 5



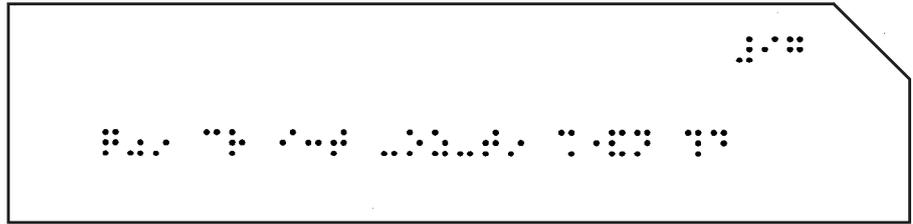
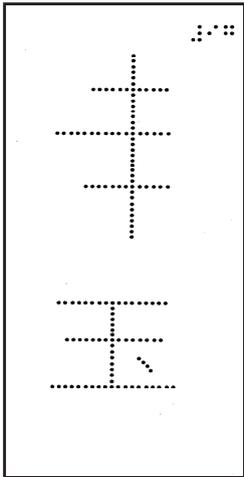
真ん中を 棒で貫く 「中」の文字

9 6



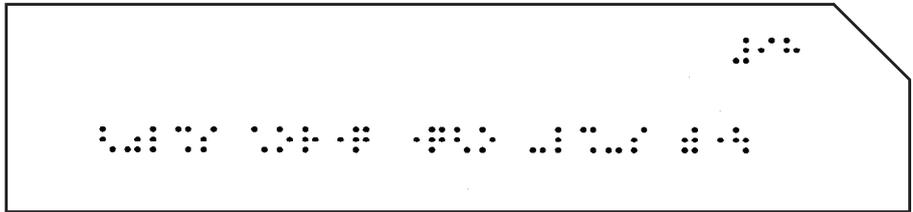
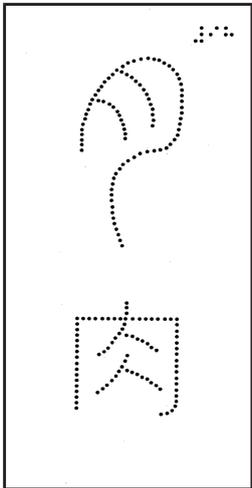
四本足 たてがみ振って 走る「馬」

97



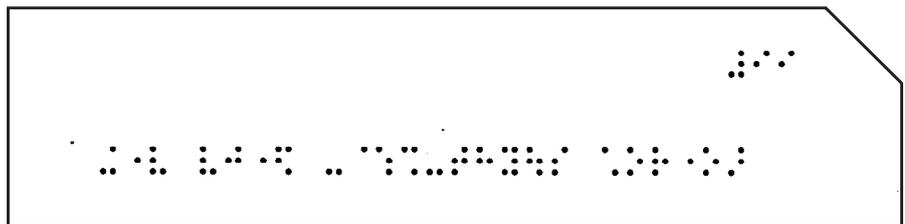
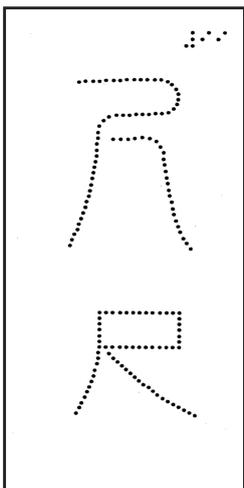
点を打ち 王と「玉」とを 区別する

98



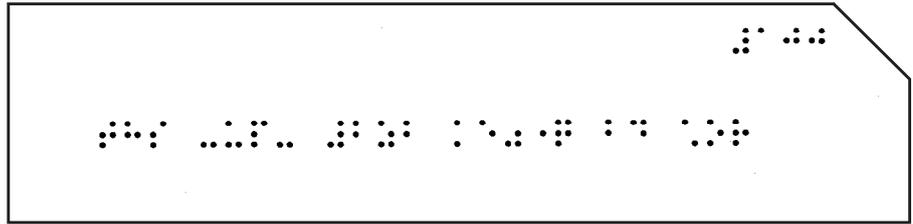
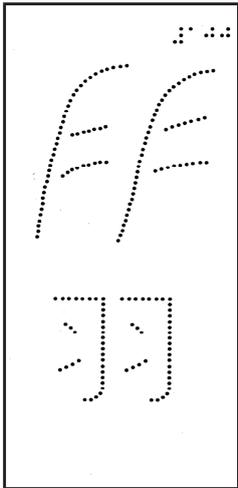
筋肉の 形でできた 「肉」の文字

99



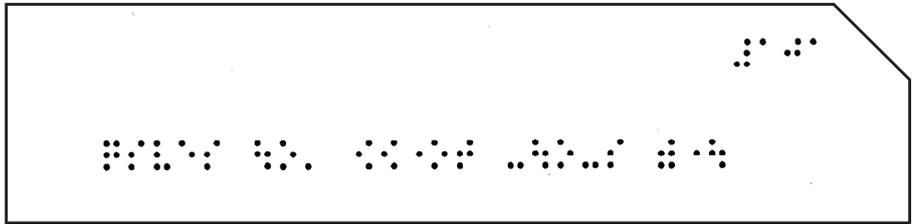
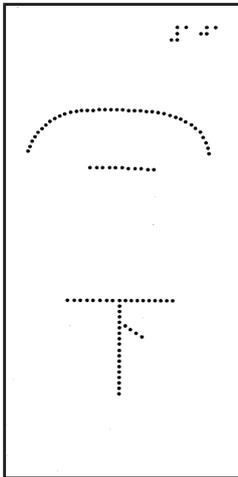
指広げ 「尺」とり虫の 形だよ

100



鳥の「羽」 二枚並んでいる形

101



手のひらの 下はここだと 「下」の文字